

握手の次は？その5（投稿から）

（59号 2016年11月14日）

指導者となって30年、現在、黒石チームにおりますが、子どもたちへは「自ら考えてバスケットを楽しむ」ことを主眼に指導しています。しかし、「教える」は8割で、「教わる」が2割です。指導者としては随分長いことミニバスに関わっていますが、自分自身勉強の毎日です。私のチームで大切にしている三つのことをご紹介しますと思います。

1 みんなで決めてみんなで守る10この約束

- （1）練習を無断で休まない
- （2）笛が鳴ったら全力で集合
- （3）礼に始まり礼に終わる
- （4）道具は大事にする
- （5）全力でプレーする
- （6）バスケットノートは毎日出す
- （7）チームワークを大切にする
- （8）大きな声で返事をする
- （9）人の話はちゃんと聞く
- （10）みんなで決めたことはみんなで守る

2 バスケットノート

練習後、その日良かった点、悪かった点を振り返り、今後の課題を書く。指導者は赤ペンでコメント（はげましの言葉）を書き、両者のコミュニケーションを図るようにしている。

3 ミニバス以外の楽しい活動をいっぱいする

ボーリングや焼肉などのレクリエーション活動、新体力テストなどを実施している。

現在、指導者は5名です。我々指導者で申し合わせていることは、チームのモットーでもある”SKILL IS MIND”（技は心なり）「ミニバスの指導は技術指導だけでなく、心の教育も大切だね。」ということです。指導者同士も互いにコミュニケーションを図りながら子どもたちの心の成長につなげたいと願っています。

（宮内伸二）